



### 大人気で好評の名流新春会盛況

#### 六百の入場で成功

日本琵琶楽協会主催の恒例新春舞台開きの名流琵琶演奏大会は、一月二十四日十一時より日本橋の三越劇場にて開催された。小春日和の快晴に恵まれて愛好者の入場も早く、開演前に百余人を算えたが午後二時頃には六百余人の入場が近年に稀れな大人気を示した。開演は稍おくれで筑前派の花形岡田旭彦さんの「壇の浦」を先番に、薩派の花形清川嵐舟「春日野」翠派の広瀬翠紅さん風邪で出演出来ず、代理として八東一峰氏が出演。鶴派門下の第一人者友吉鶴心氏が「大楠公」の曲で名調振りを發揮す。薩派の巨頭遠藤鶴東氏は「鉢の木」の熱演で老練振りを。筑前派橋本若手ホープ押川旭葉さんは「都落」の曲で巧演。鶴心派のホープ島田春水氏は「舟弁慶」を巧奏して競う。鶴派の水藤五郎氏は、母鶴鶴名人が得意とした「うづは猿」で精力を揮ったが故母堂の至芸には未だ遠いと聴衆の嘆き。原島旭雄さんの「堅田藩」は見事な好演で拍手を湧かした。都派家元都錦徳さん「新撰組」で健闘、撥擲き一段の研ぎが示され、栗原雨竹老は八十歳とは思われぬ美声で「姫百合塔」を熱奏しその若々しさは驚異。関西筑前派の覇者神戸の柴田旭堂さんは「伽羅の鬼」の曲で、東京陣に切り込む天晴れの手柄を挙げた。大館派

の平井洲誠氏は「西郷隆盛」を力奏して老練の牙えを飾り、仲川秀邦さんは得意の常陸丸で、名刀正宗の切味を。旭彦の巨匠藤巻旭鴻氏は「若き教養」で貫録の重量を馳かす。石田脩水、長谷川鶴舟の歌、絃部の掛合「勸進帳」は、出演者の両者が芝居気多きキザな態度、イキの合わぬ個所もあり、巧演なれど印象的に薄いのを惜しむ。鶴派の若手橋本水さん「盛綱先陣」は、同派隨一の花形だけに隙のない熟巧奏であった。須田誠舟氏の「錦の御旗」は、舞台態度、演技共に真面目で完璧と申した。田中旭彦さんの「小栗栖」は、流石に老練の卓技であった。前田洲月さん「白虎隊」は、お得意の曲で熱演されたが風邪気味で声色が変り、数年前の如き美声の独り得の妙味を發揮し得なかつたのでファンの声。古家絃風氏「彰義隊」は薩派の古老中の美声派で、張り切った熱演が評価された。大阪の山崎旭彦さんの「安宅」は定評ある名人芸の貫録で聴者を魅了し激賞を受けた。歌詞の内容は前奏三人合奏の「勸進帳」と大同小異のとおりであるが、歌の運びと間の色の牙えに卓越した至妙さを示された。最後は鶴心派の中谷義水氏「戦艦大和」、一水会中屈指の巧者、緊張した大熱演でファンを感動させ、大会の終りを飾った。

### 薩摩琵琶同好会総会

#### 鹿兒島の薩摩琵琶同好会では、昭和五十年新年弾初め会を一月十九日市成成学舎で開催

藤巻旭彦、若き教養、原田旭鳳、松元旭川の各来賓を迎えて開始された。曲は少女会員の「良寛さん」を序曲に、山吹の花、一茶、西郷隆盛、朝顔みゆき、桜井の歌、羅生門、綱鑑、平忠度等の各曲奏と歌絃分離の熱演で一同を樂しませ、藤巻旭彦、旭彦、黒田旭映三人の歌、藤巻旭彦師外二女性が絃で「網鑑」の合奏巧技が披露された。更に水戸黄門漫遊記、曾我兄弟、加藤清正の三曲が上演され、最後に藤巻会長の大規模演奏で妙技貫録を示し、五時半終演となった。直ちに祝宴に移り、指名で鈴木社長の発声で各位のご健康と会の繁栄を祝して万歳を三唱乾盃、藤巻会長の年頭の御挨拶が述べられ交盃が盛んになった。この時會長の切望で芸の友社長より「当日の所感に就て」の講話があつて八時過ぎ散会されたが、実に和氣あ

いあいの会であった。

### 旭鴻会東都旭会

#### 総会と新年親睦会

筑前琵琶日本旭会の重鎮で、昨年最高位の「大師範」の榮譽に昇進された藤巻旭彦師は、その一門の旭鴻会と、師が会長である東都旭会の合同新年会を一月十九日午後一時より豊島区高松町の高三會館にて催された。これに先立ち東都旭会の総会が午前十一時より同所で開かれ、型の如く四十九年度会計報告、五十年度事業並に予算の會議、役員改選が行われ、藤巻会長の重任が決定、更に会員中より昇任者六人を出したのでその免状授与が会長より親授された。昇任されたのは、大教司に黒田旭映、同じ橋上旭英、教授に藤巻旭鴻、柴田旭彦、古川旭神、桑田旭臣、雅号初谷旭憲。

この日の出演は各派流選りの大和と巧者だけに実に目覚ましい競演だと喜ばれた。

### 新年演奏会と祝宴

#### 旭鴻会と東都旭会の合同新年会

は、藤巻会長と東都旭会員の外に宗家四世橋旭翁、日本旭会副会長

齋藤旭章、芸の友社鈴木社長、大元旭川の各来賓を迎えて開始された。曲は少女会員の「良寛さん」を序曲に、山吹の花、一茶、西郷隆盛、朝顔みゆき、桜井の歌、羅生門、綱鑑、平忠度等の各曲奏と歌絃分離の熱演で一同を樂しませ、藤巻旭彦、旭彦、黒田旭映三人の歌、藤巻旭彦師外二女性が絃で「網鑑」の合奏巧技が披露された。更に水戸黄門漫遊記、曾我兄弟、加藤清正の三曲が上演され、最後に藤巻会長の大規模演奏で妙技貫録を示し、五時半終演となった。直ちに祝宴に移り、指名で鈴木社長の発声で各位のご健康と会の繁栄を祝して万歳を三唱乾盃、藤巻会長の年頭の御挨拶が述べられ交盃が盛んになった。この時會長の切望で芸の友社長より「当日の所感に就て」の講話があつて八時過ぎ散会されたが、実に和氣あ

### 吟舞菊水流本部

#### 新春初吟舞大会

東都詩琴界に名声高い人気巨匠吟舞菊水流宗家水田吟流師と夫若

恒例の五十年新春初吟舞大会を一月二十五日午後一時より葛飾公会堂にて開催された。同流は東京に静岡県下と有力な支部を有して日進月歩の発展振りて会員数百を算う勢力でありこの日の新春大会には吟と舞の上演百有余題が華々しく競演され初春の第一声を飾り、満堂の大家を感動させ好評を受けた。当日は会員の外に來賓有志も参加され吟詠や琵琶演奏で一段の華を添えた。また会員中に昇任の多くの秀技者があり免状授与式も行われ榮光会員の笑顔が輝いた。大会終演後に新年懇親を兼ねた祝宴が賑わい盛大に祝盃を挙げ賑わった。会場には寄贈祝花が並び人気を飾る。

菅根悠光師会長の菊水流本部は

錦心流一水会富山支部では、一月十五日十一時より日枝神社公会堂にて、福井、金沢両支部と合同の新年諸初め会を開催し左記諸氏が出席、各自弾奏を奏した。野尻、市江、石倉、杉本、杉浦、細田、川村、広田、長南、岸本、西川、村田、戸田、田中愛水、津田、水谷充水、田中眞水、吉野洲水、田中麗水の諸氏で、終演後山王屋にて新年懇親会を開き三支部の発展とお互いの健康を祝福して乾盃をお互い交歓した。因みに富山支部主催の春の演奏大会は五月十一日十一時より同神社公会堂にて開催が決定した。

### 一水会富山支部

#### 新年諸初め会

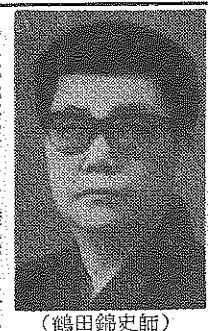
東都詩琴界に名声高い人気巨匠吟舞菊水流宗家水田吟流師と夫若

恒例の五十年新春初吟舞大会を一月二十五日午後一時より葛飾公会堂にて開催された。同流は東京に静岡県下と有力な支部を有して日進月歩の発展振りて会員数百を算う勢力でありこの日の新春大会には吟と舞の上演百有余題が華々しく競演され初春の第一声を飾り、満堂の大家を感動させ好評を受けた。当日は会員の外に來賓有志も参加され吟詠や琵琶演奏で一段の華を添えた。また会員中に昇任の多くの秀技者があり免状授与式も行われ榮光会員の笑顔が輝いた。大会終演後に新年懇親を兼ねた祝宴が賑わい盛大に祝盃を挙げ賑わった。会場には寄贈祝花が並び人気を飾る。

### NHKテレビで琵琶の「ひびき」

#### 鶴田師外出演

NHK放送局が琵琶芸に関し昨年資料を収集して製作に着手されている話は聞いていたが、それが文化展覧「琵琶のひびき」の題で二月五日夜十時十五分から十一時まで四十五分間NHKより放送された。司会丹羽正明氏で鶴田師の「壇の浦」の曲の弾奏に始まり、武満徹氏の「琵琶と出合」のお話、芸大教授小泉文夫氏の解説でギターと琵琶楽器の音色との対



(鶴田師)

照(琵琶実演田中雪雄氏)大分県下に現存している首僧の荒神琵琶(筑前)の地鎮祭の実況は紫絃会高木清次氏。平家琵琶は井野川幸治氏が「壇の浦」の一節を。琵琶製作の実況は東京石田琵琶店四世不識こと上村勝男氏が苦勞の実態を写し、平山万佐子さんが洋楽との合奏実演、武満徹氏の「琵琶への思考」が述べられ、最後に鶴田師が尺八の大家横山勝也氏と合奏「エクリプス」で、音の強弱、間の取り方のむつかしさを発表されたので愛好者に良き参考となった。鶴田師は武満氏の協力で見事の大音楽家となられた名人である

### 若手琵琶人の会

#### 第二回演奏会

#### 三月八日夜開演 第一証券ホール

東京琵琶界の薩筑各流の青壮年の精鋭が躍起して斯道の発展と、琵琶の再認識を求め情操教化を宣揚の主観で結成された若手琵琶人の会は、昨春第一回の旗挙げ公演が同好の関心を呼び、満員の盛況でよい結果を収めた。これに意を良くした同人は精進を積み重ねて第二回目の演奏会を三月八日夕五時半より日本橋三越本店前の第一証券ホールにて開催される。

この大会の出演者は、全国愛吟少壮家だけに実に潑刺たる演技で、聴者の襟を正させる程秀技が多い。

### 全国少壮吟詠家審査

#### コンクール決戦大会

財団法人日本吟詠詩舞振興会では全国少壮吟詠家の育成のため数年前より全国各地区にて第一予選で成績優秀者を選抜し、東京で審査コンクール決戦大会を開催、入賞者を表彰されるが、今年度の少壮吟詠審査コンクール決戦大会は、三月九日午前九時より霞ヶ関久保講堂にて行われる予定。

### 弘沢雨水師主催

#### 伝統芸術名流会

#### 出演陣容が内定

#### 四月十九日三越

東都琵琶界に気骨の俠者と謳われ美声と巧調で人気を博している弘沢雨水師は、昭和四十七八年と二回三越劇場にて伝統芸



(弘沢雨水師)

象会々長弘沢雨水師は、昭和四十七八年と二回三越劇場にて伝統芸

### 術名流会を主催し、邦楽中の琵琶

三曲、長唄、常盤津、新内、尺八講談等の一流大家で上演し頗る好評を受けていたが、昨年は身体の支障で休み皆様を落胆させたので、本年度企画として陽春四月十日、三越劇場に於て第三回目的伝統芸術名流会を開催する。出し物は長唄、筆曲、哥沢、尺八、小唄、講談、琵琶の七種目と内定し準備中で、講談は宝井馬琴名人、琵琶は浅野晴風、平井洲誠、須田誠舟、会主弘沢雨水、筑前派は押川旭葉、広島島の板谷旭邑の各師が決定し、他は交渉中であると。

### 一水会名古屋支部が

#### 物故者追悼の会

#### 四月二十日に

温厚中庸の大家で人望ある奥村慧水師が支部長の錦心流一水会名古屋支部では、戦後一水会支部の役員又は会員として協力された物故者、三輪純水、大河内声水、上梨将水、鈴木叫水、稲葉葵水、菅沼響水、佐藤祐水、神村師水、成瀬椿水、村岡雨水諸氏の慰霊のため陽春四月二十日に同市中区大須の中小企業福祉会館に於て追悼琵琶演奏会を開催する事が決定された。当日の出演者は奥村支部長始め支部会員一同と、來賓として東京より前田秋声、谷陣水、横須賀の土橋虎水、静岡の太田杯水、錦江の吉野洲水、金沢の田中眞水、大坂から広瀬水各大家と故鈴木叫水師の門下が略定されている。

### 木原綾子女史が

#### 三越邦楽会出演

三越邦楽会は慶応大学教授で有名な池田弥三郎先生始め各界の紳士や夫人が企画委員で、邦楽各芸能や奇術まで参加され既に五十回公演し人気を博している。一月三十日開催された邦楽会は、和泉流狂言、観世流舞踊子、琵琶、小唄、義太夫、哥沢、常盤津、長唄清元、新内、舞踊等で十七組が上演され素晴らしい盛況であった。琵琶の出演者は錦琵琶の人氣花形である富士銀行浅草橋支店長夫人の木原綾子女史で、奏曲は「うづは猿」で、故名人水藤錦徳さんより直伝の曲で好評を受けた。



(木原綾子女史)

### 半田綾子嬢活躍

日本の琵琶界を世界の楽壇に上場して一躍その真価を認めさせた名人鶴田師は、当代世界樂界の至宝であるが、師の高弟半田綾子嬢の活躍が、師の高弟半田綾子嬢と共に鶴田師の指導を受けて天分を發揮し、東京音楽集団に入り、数度欧米巡演に参加し好評で今年も世界各國への音楽公演に旅行されると多忙であると。





上段写真は会の創立十五周年記念大会の撮影で、会場安田生命ホールで開催の記念である。

神社本庁から

山田翁へ功績状 敬神徳行の範

旧幕時代の小田原の侍医を勤めた名家を祖先に家柄の手孫である横須賀市船越の山田竹次郎翁は、過ぎし第二次世界戦争開始前...



(山田翁)

婦人会長または檀徒代表、老人会世話役等の名譽職をつとめ、伝統精神を有する...

新春三巨星会談

本社の鈴木善士社長は、会の創立以来の読者であり協力者である親友の湘南地区界隈の元老で...

若林鶴山師の 十周年記念会

小田原琵琶界の硬骨漢で書道の教室を開いている若林鶴山師が、琵琶道入り十周年を記念し、桜花...

名流大会顔ぶれ

四月十二日催す 小田原琵琶界の硬骨漢で書道の教室を開いている若林鶴山師が、琵琶道入り十周年を記念し、桜花...

江島神社琵琶講 参拝奉納団募集

参拜日五月四日 東京の古い琵琶屋さんとして信用されている老舗、港区芝巴町の石田琵琶店は、明治十一年の創業...

小原旭成さん放送

筑前琵琶会屈指の名花横濱在住の小原旭成さんは、二月十六日十一時T.V.Kテレビで若き敦盛を放送されたが頗る好評であった。

中谷裏水師の放送

福岡市琵琶界の女傑眞嶋謙師は書道界の権威原田徳峰先生のご協力四月に渡米が確定し、ニューヨーク、サクラメント、ロスアンゼルス、桑港、ハワイ等で琵琶演奏される予定と。眞島史の随員に青山旭子、西山旭邦が決った。旭練会春の定期公演は三月二十三日市立少年センターで催す由。

「芸の友」創刊 25周年に寄せて

笹川良一



(笹川先生)

鈴木善士氏の主宰する「芸の友」の創刊二十五周年、月刊三百号を心からお祝ひ申し上げます。

とばてありますが、それだけにマスコミはその対象に對し、常に大きな愛をもたなければならぬといふのが、私の持論であります。

錦心流一水会本部 会長 小山田賞水



(小山田賞水師)

鈴木善士先生が経営される「芸の友」が、発行以来二十五周年を迎え、紙齢も三〇〇号を数えると承り、心から御祝ひ申し上げます。

流派を問わず、琵琶界今日の盛衰は、全く琵琶専門紙「芸の友」のお蔭であります。厚く御礼を申し上げます。鈴木先生には、どうか今後とも一層ご健康に留意されまします。

吟舞空城流宗家 村上空城

全国から文字通り芸の友が集い花の上野で「芸の友」二十五周年記念式典」を迎えることは、まことに



(村上空城師)

敬意を表しその栄光を讃えたいと存じます。願ひれば十年前の秋、鈴木先生と合風の中を車に分乗して十和田湖に同行しましたが、誰でも不平不満の出るところなのに、先生御一家は最後まで笑顔でござい緒いだいた思い出は、恩師というより慈父から大きな教訓を得た思いでござい。爾來先生の御人柄に甘んじながら、みちのく東北の一隅で吟道に生きぬく一人として、鈴木先生の信念と努力を範として、門人と共に精進いたしております。

「芸の友」が益々発展し、斯界の為に貢献あらんことを祈念して祝辞といたします。

琵琶歌作詞家 西宮 松野紫雲

「芸の友」が三百号記念との事年々にして二十五号、連綿として続けられたるその業績、その努力に深甚なる敬意を表するものであります。

芸の友25周年、記念祝賀の讃歌

鎌倉 曾我龍城

春夏秋冬積み重ね、星霜荏苒二十と五、榮ある祝賀今日今宵、銀燭燭々といと映映。恰も亦生の臚空、交わす盃一入と、香り勝て盛儀をば、謳ひ讃える宴かな。想えば永き歳月を、捲かず挽ゆまず朝な夕、歳せし努力の花実り、誉れは高し芸の友。

日本旭会本部理事 紅会 押田旭窃

「芸の友」創刊二十五周年、誠に御出度うございます。二十五周年といふ歳年は長いものと思えますが又束の間過ぎたものと思えます。この間幾多の困難を克服されて琵琶界の機関紙として愛りなく、芸の友を刊された御努力には改めて鈴木社長に拍手を送りたいと存じます。今後とも御健康第一に斯界のため、また広く邦楽界に寄与される事を期待して祝辞に代えます。

「芸の友」創刊 25周年に寄せて

笹川良一



(笹川先生)

鈴木善士氏の主宰する「芸の友」の創刊二十五周年、月刊三百号を心からお祝ひ申し上げます。

とばてありますが、それだけにマスコミはその対象に對し、常に大きな愛をもたなければならぬといふのが、私の持論であります。



(齋藤旭章師)

「たんばばや、いく日」 雲の友誌が、発行以来一回の休刊もなく、ここに二十五周年を迎えられたことは誠に御出度いこととて、一口に讃辞を呈しようもございませぬ。

終戦後の酷しい世相の中で然も邦楽中最も生気のなかつた琵琶道を、こまめに盛り上げて来たのはこれを誘導し、激励する専門の機関誌があつて、これが榮養剤となつて、カンフルとなつてこそ今日の発展を見るに至つたもので、偏に主幹鈴木善士先生の絶えざる献身と犠牲の賜に在るものと、茲に謹んで感謝とお祝ひを申し上げます。

### 祝辞 (2)

筑前琵琶日本旭会  
理事長 榎本 旭風



(榎本旭風師)

二十五年もの永い歳月を貴紙「芸の友」の編集と言う至極困難、且つ有意義なる事業をつづかれ今日まで斯道に寄与されました御功績は、真に偉大なるものと存じ益々尊敬の念に堪えません。斯道広範に於ける厳格又優雅な交流の場としての貴紙の感徳の御繁栄をお祈り申し上げます。

日本橋会宗範  
琵琶吟大和流宗家  
山崎 旭萃



(山崎旭萃師)

芸の友創刊二十五周年お目出度うございます。併せて鈴木先生御長寿八十六歳お芽出度うとお慶び申し上げます。

思い起しますに、光陰矢の如しと申されますが、先生が朝鮮ご在住の時「芸」を發行せられたりした時より毎度御厚情に接していただき、今更ながら長い年月琵琶道の為に御尽力下さいました事、琵琶道の灯火としてお導き下さいましたことに深く感謝申し上げます。

先生の一貫した愛護のご精神は民心思想の善導を重視された芸道の教化にあると洞察いたしますので、私もその責任を感じ、国家社会のため奉仕に努め、先生の意に添う覚悟であります。

今はまだ先生の御健康にて御長寿を祈り、いついつまでも琵琶界のため御尽力下さいませ事、この芸の友紙の三十周年、五十周年とご発展を心よりお祈り申し上げます。

錦心秋声会々長  
東京 前田 秋声



(前田秋声師)

創刊二十五周年を祝う。二十周年記念が、きのうの様に想われますが、早いものです。もう五年たちますかな、お目出度うございます。……私が初めて先生との出会いは、大正十三年頃でした、あれから幾星霜、手を離せば

雲となり、手を覆せば雨となりがちな世の中に、殊に複雑な芸能誌の社長としての俊敏な洞察力と、精神的な行動力とで今日まで「芸の友」を維持された事は、接する人の総てが知るところです。その一本の誠実と温情に充ちた友愛によって裏付けられた芸の友社長は、その精神を私は感じ取るものです。先生これからの御体に留意され米寿の坂を越え益々御健康をひたすら願ってお祝の言葉といたします。

日本国風流詩吟  
宗家 兩宮 国風



(兩宮国風師)

新しく迎えた昭和五十一年の初日は「芸の友」創刊二十五周年に当り、また陽春三月を以って三百号の刊行となる。世上結婚して二十五年は銀婚式とかまことに目出度い祝いの時であります。芸の友が二十五年という永い年月を、一回の休刊もなく、琵琶、吟詠、両道の指針として私達に示された幅広い記事は、私達に有効な力を帯びて来たとあります。私達は社長鈴木先生の御功績を大いに讃えたいと思うのであります。芸の友誌上

に毎回名を掲げておられる琵琶吟詠の大家諸先生の御参会を今より切にお願ひ申し上げます。

四半世紀の軌跡  
綴水会々長  
大阪 広瀬 綴水



(広瀬綴水師)

「芸の友」二十五年の春ここに、咲く花すべて君を言祝ぐ。越えし山、渡りし河を振り返る、とき風雪も楽しかるべき。

「芸の友」四半世紀の軌跡にぞ、今こそ見たれ君が男ごころ。

「芸の友」が、茲に創始二十五周年、発行三〇〇号を迎えらるる。

「芸の友」が、茲に創始二十五周年、発行三〇〇号を迎えらるる。

「芸の友」が、茲に創始二十五周年、発行三〇〇号を迎えらるる。

「芸の友」が、茲に創始二十五周年、発行三〇〇号を迎えらるる。

「芸の友」が、茲に創始二十五周年、発行三〇〇号を迎えらるる。

「芸の友」が、茲に創始二十五周年、発行三〇〇号を迎えらるる。

「芸の友」が、茲に創始二十五周年、発行三〇〇号を迎えらるる。

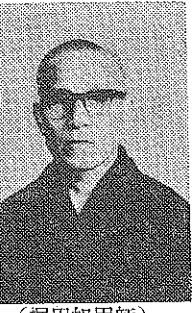
「芸の友」が、茲に創始二十五周年、発行三〇〇号を迎えらるる。

「芸の友」が、茲に創始二十五周年、発行三〇〇号を迎えらるる。

想えば、戦後米軍のきびしい占領行政下であって、殆んど消え失せかけた我が琵琶界の中に、一脈の灯を灯しつづけ、各地に離散した名流巨匠を尋ね求めて、或は接し、又これを広く同好の間に紹介して遂に今日の隆昌を見るまで、復活することが出来たことは、社主鈴木先生と並ぶ並々たる労苦と、犠牲のほどが想はれて、誠に頭の下る思いであります。

先生が朝鮮京城に在住された当時、わが橋会の琵琶芸術を深く理解され、これを鮮内各地に紹介されたので、橋会の教師も多数輩出し、同好者も特に橋会の琵琶を賞讃し、金銭に亘つて斯界の人気の的となつた快事蹟など、全く先生が琵琶界に与えられた功績は偉大なものであります。

今や米寿に垂んとするご高齢にも拘らず、文字通り東奔西走各地の琵琶演奏大会などに出席激励される姿は、純粋な、真摯な、国風古典音楽保存のご先達であると思ひます。どうかいつまでもお元氣にご健筆を揮って下さる様、神かけてお祈り申し上げます、お祝いの言葉と致します。



(堀田旭甲師)

日本旭会本部長  
小倉 河野 旭保



(河野旭保師)

芸の友社が創刊二十五周年、三百号のお目出度いこの時を迎えました事を心よりお喜び申し上げます。記者生活五十余年の鈴木社長さま、よくここまでお続けなされたに敬服いたします。

戦後物資の欠乏、人心混迷、殺伐たる風潮の中を敢然と芸の友誌の編集にとり組まれ、以来二十五年間、一度の欠刊遅配も無く、毎月毎月発行されました御努力は、他の追随を許さないものがございます。如何なる道にも言える事でしょうが、一つの道を何十年も続けることは余程の意志の強いものでなくては出来ないと思ひます。

清廉潔白の人、財力に躍らない人、そして感情に負けない信念の人と尊敬いたしております。これからも芸の友社が三十年を迎え、五十年を迎えるまでお元氣で斯界の立派な機関紙としてお続け下さることを祈念して、お慶びの言葉と致します。

錦心流琵琶道水会  
会長 三浦 蓮水

この昭和五十一年の新年で「芸の友」



(三浦蓮水師)

友が二十五周年、三月に三百号になります。由、誠におめでたうございます。琵琶の報道機関紙として三百号まで一度の休刊も無く続けられた事に敬意を表します。

いつぞやは交通事故で負傷され、永い間入院された事もありましたが、この間もお嬢様がお父上様を助けられ継続されたこの喜美子様のお力が三百号記念につながるものとお察しいたします。どうぞ益々お元氣に芸の友の報道をお願い申し上げます、お祝詞と致します。

### 本社二十五周年記念式典を挙行

三月二十六日  
上野精養軒で

本社は昭和二十五年四月「芸の友」を創刊して国民伝統精神の宣揚、情操教化善導へと邦楽の発展向上促進に尽力を傾け、以来満二十五年、月刊三百号を積み重ねました。依つて茲に本社創立以来特別に御懇情御支援を賜つた御愛読者有志並に御関係の方二百五十名を来る三月二十六日午後四時に東京上野公園内の精養軒に御招待申し上げ、左記により記念式典を挙行します。

### 回顧録 (上)

▲普士記▼

琵琶を私が始めて聞いたのは明治四十三年で、近衛歩兵聯隊に現役で入隊していた時である。琵琶能人と関係が結ばれたのは大正六年二代朝鮮総督齋藤實海軍大將が赴任された年に私も渡韓して、大正七年に京城で新聞記者として活躍時代のこと、当時京城には坂井旭水、村旭汀、水波旭子、本多旭映、亀川旭江の筑前派法山号教授と、錦心流の松井清水師が多くの門人へ教導されていた。大正九年京城旭会が創立され、その披露演奏会に二世橋会、旭映御夫妻と一丸旭菊、猪俣旭西両女性が来演された。この二世宗家不在中に東京では、初代旭翁師の代積吉を担任されていた橋会宗師が宗家を離れ独立して橋会樹立を宣言された。この報に接して二代宗家中心の旭会員は驚愕したが固結して二

世旭翁擁護に一決した。旭翁の名人豊田旭翁師が、母堂旭橋老師と来鮮され、貴婦人の態度で同好を一驚させた。八洲流の先覚前田旭電さんの在任もこの頃からである、その後朝鮮を訪れた大家は岡山の深谷旭紅、神戸松岡旭岡、橋会宗家橋会宗家、角田旭隆、中村旭鏡、荒牧旭江、高田旭邦、飯牟礼春長、牧野錦光、錦心流宗家永田錦心、兩宮薫水、浅野晴風の著名人等で、名古屋の八洲流宗家安部旭洲師と令妹旭桃、令嬢帯同て来訪されたが、その何れかの師も京城で演奏の場合は私へ協力を要請されたものである。京城橋会が創立されたのは大正十年のこと、旭翁師が来鮮された。以上の関係から京城旭会創設以降の朝鮮の琵琶界は、内地(日本)各流派首魁の重視する所となり、私は関係記事新聞を東京、大阪を始め各地の幹部へ郵送した事が続いた。大正十三年新聞社を辞して同年月刊「芸」を発行してよりには積極的に内地琵琶界にも呼びかけ通信情報を得、山元旭錦、大阪の広瀬綴水師師はその当時から知名文通の間柄となった。また暫く母国日本を訪問して各大家や花形と面接し、特に旭会全国大会が京城で開かれた昭和九年以降は、大会出席の有名人に知己を得た。それは私も全国大会開催の委員であったからである。当時は二世旭翁宗家の時で、三世宗家は未だ「旭殿」を名乗られていた。この大会で最も人気があったのは、松岡旭岡、光田旭扇、田中旭鎖さんが印

象深い。

前田堅水、石坂鏡水氏一行も来鮮された。松井清水門下の天才児柴田君を水藤錦門門へ入会させたのも私の推薦で、その縁故で戦前の昭和十六年春帰国の折り水藤堅水邸を訪問し、柳橋の料亭で歓迎を受けた。この席には水藤枝水、山口錦堂、武本錦枝、椎橋松亭各氏と他二名が出席された。翌日水藤錦堂さんより歌舞伎座へ招待され視察し、水藤師の歓待に感激した。この時上京途中の大阪で曾つて京城におられた水波旭子師が山崎旭萃さん外の絃友を集め一夕の歓迎会を催して下さった。これが山崎師との初対面である。昭和二十年終戦により在鮮日本人へ引揚げ命令が出て各地毎に団体の副団長に選ばれ、十一月末京城を発ち十二月十日に苦勞に苦勞して東京へ着いた。

暫らく郷里茨城県等間市郊外の実家で暮らしたが、都会生活三十余年の私には方策立たず、東京生活を見て上京し、琵琶関係の有方名士水藤枝水、池上作三、平田旭舟、大阪より移住されている水波旭子さん等を訪問する内に琵琶の動きも判り、演奏会を視察、水藤錦堂さんの疎開先寄居にもたず川風水師が開かれたが、琵琶の復興は容易な業ではないと思つた。その頃平田旭舟師の尽力で東京琵琶界の名手達にご紹介され、また同師宅の稽古振りにも参観し、藤巻、原島さん等数名とも面識を得た。

(次回へ続く)



芸の友二十五年間の歩みと事業 (上)

芸の友紙創刊によって東都界の大物である鈴木綿水、竹下翠風、中谷義水(当時三浦映水)宮内博水氏等として、談合の結果琵琶振興策として「琵琶同好会」結成のため豊島区有力者を説得協賛運動を竹下、宮内両人と私が同行し、先ず区長から区議、公職者を月余に亘り歴訪して賛同を求め、十一月池袋西口の料亭「大江戸」で発会式を挙げたのが私の東京で再興の第一歩であった。この同志会は池袋を中心とした隣接区愛好同人の石坂、古川、小山田、中村、藤巻、広瀬、池川、中谷、白倉、鈴木諸氏の賛同する所となり、池袋地区にて数回公演されたが何時の間にか立消えの形となった。この動機私の真意は、戦後不安定な民心鎮静のため琵琶人の社会奉仕態度で、琵琶の再認識を早め、振興に躍起させたいのであったが、弾奏家の考えと一致しなかったのは残念である。然しこの会の設立によって同好有志を刺激し公演会が多くなった事は確かである。

演奏大会を、二十六年九月三十日十一時半開演、四谷の松平ホテルで講和条約成立と芸の友一周年記念とし挙行した。出演は薩筑各派の名星で中村旭里、丸山錦洲、三浦映水、清水錦世、清川鶴水、吉田旭明、山口速水、吉益旭扇、中村錦操、遠見旭水、笹本琴水、仲川秀邦、水原錦石、小田山貫水、奥村旭郎、谷暉水、大津旭紅、熊岡栄水、田辺錦波、広瀬翠紅、竹下翠風、上山旭寿、川畑輝峰、出口藤堂、梅沢河水、鷹岡若水、蟹江錦鱗、鈴木綿水、平田旭舟、都江錦、黒田輝洲、西村錦風、黒田幽水、小原旭成、白井宏章、鶴田桜玉、池川旭葵、石坂鶴水、宮内博水、黒田旭昭、吉原鑑子の諸氏で総数四十一名。奏曲は単、合奏で四十曲の番組であったが欠席者十名あつて三十曲が上演された。然しこの会は戦後最大の大会出演で名手揃いで人気を呼び満員であつた事と、聴衆に紳士が多々見られたこと、食料統制下で飲食ままならぬ時代に出演者へ食事差上上げた事が非常に好印象を与え成功した。

ル松平で座談会、七周年に日本橋の料亭国松で祝賀会を開き御支援有志に謝意を表した。一方では地方状況視察の必要を痛感し、湘南地方を真先に、東海、関西を考えた。静岡の山本鶴声師の大会で山本師と一門有志の厚意を受け、名古屋では若見旭香さんに歓迎され、長野、富山両県の名手とも会見を得て嬉しく、彦根の山本旭城師宅では一門揃つての歓迎で手厚い優遇に感激した。京都の四明会々々長栗本天秀翁宅で四明会員約十名列席の歓迎会では、大阪より広瀬綴水師が懇々上京されての紹介の傍には真に感謝の外はなかつた。栗本師のご厚意で翌日京都見物し師宅に二泊して帰京したがこの旅行で地方名士の厚情を深感す。

北海道視察の機 絃聖吉村岳城師逝去により北海道札幌の高弟横山岳玲師が、吉村師追悼会を主催する招待を受け始めて北海道へ渡つた。軽部、煙山両者が同行である。函館で高橋綴水師宅で少憩し談話、札幌の横山邸に落つたが、横山師は札幌の財閥という程の富豪だけに豪華な住居で歓迎され、追悼会も実に盛大で私も追悼の辞を述べたのである。その後札幌へは五年後に大館洲風師と同行し、内山裕水師主催の歓迎会に臨み、室蘭、函館、小樽で歓迎演奏会を受けた事もある。さて群馬の高崎、神奈川の小田原、横浜、川崎、山梨の甲府。また関西では大阪、神戸、広島、京都。北陸地方は富山、金沢、福井、越前、石川、福井の各大会に臨席した。

新記録の記念大会 今から十年前の昭和四十四年四月に本社が十五周年記念愛護者慰安行事として新宿の安田生命ホールで催した「名流琵琶芸術鑑賞大会」は、東京、神奈川、群馬、山梨から近畿、中国、山陰、九州より各流派の琵琶河道の巨星と花形が参加出演され、総数八十余名の大観衆で、演奏曲三十三題、大半が合奏で単独奏は稀なく、午前十時開演、午後七時半に終わった。この間三部に分け記念式典も行われ、辻晴剛委員長の挨拶、笹川良一、

慰労懇親招待会

大会の翌日十八日に各出演者と関係名士等九十余名を麻布プリンスホテルに招待し、笹川会長、田辺琵琶協会長、辻委員長等全員出席され、黄金の間でパーティーを開き祝杯を挙げ談話を交した。このパーティーの催しも琵琶史上未曾有の快挙と言われ、大会と共に史上に新記録を印し永遠の語り草となった。

間接協力の諸会

芸の友創刊後より琵琶界の動きは漸く活発となり、全国的に演奏会の催しが増し、個人的には連合会も続々開かれた。特筆すべき大会は、鈴木鉦次郎氏が主催された大本山増上寺での琵琶物語者追悼大法要、池上作三先生主催の芸術祭参加琵琶芸術鑑賞会で、これは各流選抜大家が出演で、毎年一回の四年間続開され好評を受け、その出演者の人選と運営に参画し協力。その他の記念会、祝賀会、追悼会等への協賛は頗る多く、信頼を深めたが各名列挙を略す。(以下四月号へ続く)

琵琶楽協定会時総会

日本琵琶楽協会の定時総会は、二月九日豊島区高松町の高三会館にて開き、役員会員等約四十名出席、田辺会長病欠、吉川副会長も欠席、辻理事長病欠で藤巻総務委員と委員会員での総会、会則の審

満員の人気で 振興会の新年会

四絃界の巨星鈴木流泉師会長の日本琵琶振興会の昭和五十年新年初例月は、第四日曜に当る一月二十六日午後一時より新宿の洲風会館四階定席で開催された。出席者は鈴木会長、松田静水顧問、望月巫江、山田洲風両相談役、鈴木蒼士芸の友社長を始め都内並に近県より薩摩、筑前、錦心、錦各流派の名手や新人、吟界の愛好者五十余名で満員の盛況である。先ず会長流泉師が登壇し「琵琶楽協定会」について製法と取扱ひ方の一講義を二時間亘り行い、二時より参会者の弾初めで各派人の演奏が五時まで続く。新年懇親宴を開いて歓談二時間で七時に終了散会した。この日は田中旭嶺、原島旭姓、西村錦風、新部桜水、井坂旭良、佐藤旭天紅さん等筑前派有名人も来会された。

清吟会の研究會

東京実業界の紳士岩田錦星氏会長、三田村錦霞師総務の清吟会では本年度初の研究茶話会を二月九日午後一時より新宿の洲風会館にて開き、各流の名手有志三十余名が出席され各自弾交に楽しみ終演後晩餐を共に交歓され賑つた。

祝 芸の友25周年300号

笹川良一	鈴木鉦次郎
笹川鎮江	戸谷信太郎
山元旭錦	前田秋聲
鶴田錦史	三浦蓮水
山崎旭萃	五州会一同
榑本旭風	

(以上) (以下九面へつづく)

**山崎師東京初稽古**  
大阪の山崎旭華師は、一月二十四日東京三越劇場で開催の五十年新舞台開き名流琵琶大会へ出演のため二十一日上京された。三越劇場へ出演後二十五日は松村さん宅へ出席、二十六日より東京会員の初稽古を始め三十一日まで続け二月一日稽古会会長の橋本義彦に就ての幹部協議会へ出席された。

**若手新進琵琶大会**

京都琵琶界の名士田中鵬水師の三美会では、二月十六日十一時より四條堀町の山一証券ホールで各流派若手新進琵琶大会を開催、京阪地区の少壮な高千穂多数の外、全国的にも著名な高千穂旭風、矢吹旭美津、佐藤旭天紅、吉野洲水、田中鵬水、古谷寛水、鈴木流泉、田中鵬水、山崎旭華の大家が出演され頗る盛況であった。

**錦城流浦和支部 十周年記念大会**

現代吟詠界の女傑で錦城流宗家山元錦城師の錦城会浦和支部が創立十周年を記念し、二月十六日十一時より浦和市民会館にて吟詠大会を開催、支部長大島城雄以下支部全員、東京総本部より山元宗家大塚城聖理事長、丸山城社総幹事始め各流派幹部と名手連が出演、吟吟吟吟吟、特別番組華道吟、獨家百選和歌集、特別番組華道吟、雲流るる果て、戦没学生の手記等が上演されて満場の拍手を湧し頗る盛況であった。

**福岡旭会の演奏会**

福岡琵琶発祥地である福岡の旭

**琵琶詩吟名匠録**

- 薩摩琵琶 124 東京都葛飾区立石一丁目五番四号 電話(03)5733939
- 遠藤 鶴 280 千葉市登戸四丁目九番二号 電話(043)419019
- 須田 誠 104 東京都中央区銀座六丁目五番五号 電話(03)6498575
- 薩摩琵琶 正統会
- 清川 嵐 272 市川市野野六丁目一八四番二号 電話(047)722244
- 緒方 晴 192-02 多摩市桜ヶ丘二丁目二番四号 電話(042)740033
- 野尻 撰水 534 大阪府東区毛馬町三丁目一番 電話(06)2566111
- 紫舟流詩舞 紫舟会 249 延子市山の根二丁目一ノ六号 電話(076)219855

日本芸能顕彰会 理事長 鈴木 鉦次郎  
114 東京都北区田端町一丁目三番 電話(03)6666231

正派薩摩琵琶詩吟 最上 徳洲  
031 八王子市内丸九十五番 電話(0426)22111

静岡風吟詠同志会副会長 伴野 鶴風  
420 静岡市清水区三丁目一丁目一番二号 電話(054)944444

薩摩琵琶南風会 田川 富峯  
920 金沢市長町一丁目四番四号 電話(076)210000

鎌倉琵琶 春山会 會我 龍城  
248 鎌倉市長谷一丁目二番三番 電話(044)709111

錦心流一水会中央支部 幹事長 戸谷 曙水  
110 東京都台東区下谷二丁目一丁目一五番 電話(03)3811111

空城流吟舞、詩吟 村上 空城  
011 秋田市旭町二丁目三番一八番 電話(096)225599

薩摩琵琶 柏木 篁道  
125 東京都葛飾区鎌倉町四丁目一丁目一四七番 電話(03)6819477

錦心流琵琶 天野 恩水  
065 札幌市東区北二丁目二番一条東六丁目 電話(011)2491511

錦心流琵琶 石田 脩水  
257 神奈川県秦野市寿町六丁目三番 電話(0463)810213

会では、市教育委員会の後援で二月二十三日午後少年文化会館にて筑前琵琶鑑賞会を催し、樋口旭清中村旭園師範、佐々木旭坊、熊手旭辰氏他会員が出演、合奏、単奏十六曲と特別番組連曲「義経の生涯」を上演し人気を呼んだ。

**精密部品加工業** (腕時計部品) (事務機)  
ネクタイ整形具(タイフレンド)製造販売  
**平井精密工業** 有限会社  
本社 所沢市日吉町17-13 電 0429 (22) 3175  
工場 所沢市荒幡 218 電 0429 (22) 3660  
社長 平井 円吉(洲誠)

染料・染色助剤・化学工業薬品  
合成接着剤・界面活性剤・製造卸商  
登録商標 **株式会社 戸谷染料商店**  
社長 戸谷 曙水  
本社 東京都台東区下谷二丁目8の9  
電話(873)3111.3112.3113.3114.3115  
工場 埼玉県草加市吉町1丁目5の21番地  
電話 草加 0489-24955 番

**琵琶詩吟名匠録**

- 筑前琵琶 日本旭会 本部 102 東京都千代田区三番町三番 電話(03)363333
- 松岡 旭岡 520 大津市津坂一丁目一丁目二番 電話(077)933188
- 副会長 齊藤 旭章 102 東京都千代田区三番町三番 電話(03)363333
- 理事 榎本 旭風 537 大阪府東区神路三丁目一丁目一番 電話(06)273111
- 詩吟静風流風凰会 旭風 笹川 鎮江 112 東京都文京区千石町三丁目三番 電話(03)732222
- 筑前琵琶橋会師範 旭邦会 大坪 旭邦 154 東京都世田谷区梅丘一丁目一丁目一番 電話(03)566000
- 筑前琵琶旭華会 大和流琵琶吟 山崎 旭萃 569 大阪府高槻市津之江町一丁目一丁目一番 電話(072)658800
- 筑前琵琶 山元 旭錦 166 東京都杉並区成田西一丁目一丁目一番 電話(03)611111
- 筑前琵琶 日本橋会 事務局 444 岡崎市福寿町七丁目一丁目一番 電話(0564)210000

- 筑前琵琶日本旭会 大師範 押田 旭窈 160 東京都新宿区三栄町一丁目一六番 電話(03)459111
- 筑前琵琶日本旭会 大師範 河野 旭保 802 北九州市小倉区馬借一丁目一四番 電話(092)834000
- 筑前琵琶旭堂会 大師範 柴田 旭堂 651 神戸市東灘区上筒井通一丁目一丁目一六番 電話(078)116111
- 筑前琵琶旭陽会 大師範 藤巻 旭陽 171 豊島区高松町三丁目一丁目一五番 電話(03)261111
- 大教司 藤巻 旭彰 171 豊島区高松町三丁目一丁目一五番 電話(03)261111
- 大教司 藤巻 旭彰 349-01 埼玉県蓮田市御前橋一丁目一丁目一六番 電話(048)681111
- 筑前琵琶教授 旭嶺 810 福岡市中央区春吉一丁目一丁目一八番 電話(092)311111
- 筑前琵琶博多旭蝶会 旭嶺 810 福岡市中央区春吉一丁目一丁目一八番 電話(092)311111
- 筑前琵琶橋会師範 大和流琵琶吟 板谷 旭邑 730 広島市福本町一丁目一丁目一五番 電話(082)239111
- 筑前琵琶橋会事務局 堀田 旭甲 444 岡崎市福寿町七丁目一丁目一七番 電話(0564)210000
- 筑前琵琶橋会師範 旭柳会 松本 旭柳 461 名古屋市東区東外堀町二丁目一丁目一六番 電話(052)611111

- 筑前琵琶、旭粧会 師範 原島 旭粧 160 東京都新宿区西新宿六丁目一七番 電話(03)556444
- 静風流詩吟、琵琶 風麗 峯 旭孝 177 東京都練馬区東大泉町一丁目一四番 電話(03)340000
- 筑前琵琶旭紅會 師範 大津 旭紅 167 東京都杉並区雨沢一丁目一丁目一五番 電話(03)331111
- 筑前琵琶旭昇会々々長 師範 田中 旭昇 653 神戸市長田区梅ヶ香町一丁目一五番 電話(078)611111
- 筑前琵琶橋会師範 木下 旭竜 272-01 千葉県浦安市猫更一丁目一四番 電話(047)511111
- 大和流琵琶吟 師範 安藤 光鵬 158 東京都世田谷区東玉川三丁目一三番 電話(03)411111
- 筑前琵琶橋会師範 旭根 林田 旭城 577 東大阪市後徳町一丁目一八番 電話(072)148111
- 筑前琵琶橋会師範 師範 押川 旭葉 250-04 神奈川県川崎市長瀬町一丁目一三番 電話(044)211111
- 筑前琵琶、詩吟教授 詩吟流流流 石河 旭豊穂 464 名古屋市手塚区徳川山一丁目一三番 電話(052)781111

- 錦心流琵琶 愛吟会 山田 幻水 237 横浜市磯子区船越町一丁目一五番 電話(045)611111
- 都派琵琶家元 113 文京区根津二丁目一丁目一五番 電話(03)577088
- 薩調四絃玉山会 171 東京都葛飾区長崎五丁目一丁目一五番 電話(03)681111
- 日本錦古流総伝教師 四方 田錦隆 375 藤岡市古木町二丁目一四番 電話(027)231111
- 吟詠教授、吟松会 中村 松聲 430 浜松市東区谷町三丁目一三番 電話(053)766000
- 錦心流琵琶 加藤 錦陽 181 三鷹市井の頭三丁目一五番 電話(03)3437965
- 翠琵琶本部 168 東京都杉並区下高井戸三丁目一三番 電話(03)331111
- 宗家 竹下 翠風 810 福岡市中央区今川二丁目一七番 電話(092)311111
- 筑前琵琶 廣瀬 翠紅 187 東京都小平市仲町一丁目一五番 電話(042)411111
- 筑前琵琶橋会師範 北村 旭良 680 鳥取市片原四丁目一七番 電話(0857)221111
- 筑前琵琶橋会師範 旭蘭会 久徳 旭蘭 651 神戸市東灘区八幡通四丁目一七番 電話(078)611111

- 錦琵琶本部 水藤 藤五郎 176 東京都練馬区旭町三丁目一三番 電話(03)491888
- 西村 錦風 錦琵琶さくら会 153 東京都目黒区五本木一丁目一五番 電話(03)491454
- 錦心流琵琶錦堂派 秋山 錦賜 351 藤沢市磯沼一丁目一丁目一四番 電話(0463)786777
- 錦心流琵琶教授 鉦水 平野 鉦水 249 浜子市松山三丁目一丁目一三番 電話(046)731111
- 水藤錦樓直門 木原 綾子 274 船橋市高根合四丁目一五番 電話(047)794000
- 筑前琵琶日本旭会 師範 中村 旭園 810 福岡市中央区今川二丁目一七番 電話(092)311111
- 筑前琵琶旭会 師範 樋口 旭清 815 福岡市南区長住五丁目一五番 電話(092)311111
- 筑前琵琶詩吟教授 旭登会 若宮 旭登 189 東村山市美住町一丁目一八番 電話(0426)211111
- 筑前琵琶、詩吟撰補流 師範 佐野 旭晴 657 神戸市灘区上河原通三丁目一四番 電話(078)611111

最古の傳統と最高の技術  
**薩摩琵琶** 専門製作  
附属品一式  
薩調 愛吟集 各定価1,000円 送料 85円  
創業明治十一年  
**石田琵琶店**  
東京都港区芝田町八番地  
電話(03)454488  
西久保巴町電話掛大通り

お酒と新鮮魚  
大衆的実質酒場  
**荒井屋**  
友吉 健ちゃん  
東京浅草雷門横  
電話(84)42511番